

まだまだ尽きない畑への情熱。農作業は生き甲斐そのもの。

ゆきちゃん農園

【ゆきちゃんのうえん】

鹿児島県
肝属郡
東串良町



収穫されたばかりの
パッションフルーツ。最盛期には
1日に60kg超が収穫されます。
洗い・磨き・選別・パック詰め、
出荷するまで全てが手作業。

農作業歴50有余年 80歳から始めた果物づくり

東串良町内で唯一のパッションフルーツ農家である〈ゆきちゃん農園〉。御年86歳になるご主人の一松幸尚さんは、きゅうりやながうりの栽培を50年以上続けてきた大ベテランです。80歳になる頃、パッションフルーツの栽培に興味を持ち、意を決して畑の3分の1を転作。地域内でのパッションフルーツ栽培の第一人者として、他地域へ視察に出かけたり技術員への相談をしたりと苦労を重ねながら、毎日欠かさず農業日誌をつけ奥さんの

フミ子さんと二人三脚で畑と向き合ってきました。

そんなご夫婦のもとに、ご家族が本格的に畑の手伝いに入るようになったのは2年ほど前から。「高齢ということもあって手伝いに来ていますが、あくまでも両親主導。畑仕事をしている両親が一番いきいきしていますよ」と長女の笑子さん。「孫たちが喜んで食べてくれるのが嬉しくて」と笑う幸尚さんご夫婦の畑への情熱は、まだまだ尽きることはなさそうです。

ゆきちゃん農園



南国情緒あふれる

エキゾチックな花

爽やかな果実の香りに包まれたハウスに足を踏み入れると、ところどころに白い花が。時計の文字盤を思わせるユニークな形が特徴で、この花の形から別名「トケイソウ」とも呼ばれるんだそう。「大きな花を咲かせたり実が色づいたり香りが強くなったりと、パッションフルーツの栽培は刺激的で楽しいですよ」。

美味しく食べてもらおう姿を想像して

丁寧に畑と向き合う

春先に花が開くと、筆を使って一つ一つ丁寧に人工受粉をします。農業日誌を欠かさずつけては作業を振り返り、収穫量や出来の違いに一喜一憂の日々。食べてくれる人の笑顔を想像しながら、南国の太陽の恵みをいっぱい浴びた美味しいパッションフルーツづくりに励みます。

表面にシワが出ると
食べ頃のサイン。
アイスの
トッピングにも◎。



発行：東串良町役場 企画課 ふるさと納税担当
〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町川西1543
TEL/0994-63-2630 FAX/0994-63-3138

左から／一松 幸尚さん・フミ子さん、上赤 笑子さん・忍さん

「両親は家ではぼんやりしていても、畑に来るとシャキッと作業を進めるんです。本当に畑が生きて甲斐なんだと思います」と笑子さんご夫妻。家族で畑の悩みや喜びを共有できるのが何よりの幸せなんだそう。